

平成28年度

**「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」**

大阪市立愛珠幼稚園

平成29年3月

大阪市立愛珠幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 平成26年度から引き続き、愛珠幼稚園の耐震化工事のため、小学校へ一時移転をしている。小学校の環境を活かしながら幼児に合った環境や教材を選定し、教育を進めているが、さらなる教職員の研鑽や連携が必要である。また、小学校との連携は今まで以上に実施できる環境にある。今年度も、小学校教育を学ぶ機会を作ったり、合同研修会を行ったりし、計画的に進めていく。就学前教育カリキュラムを本園の教育課程に取り入れて幼稚園教育を充実させ、小学校教育を見据えた学びにつながる思考力の芽生えを培い、年齢毎の関心の高まりを向上させていくことを課題とする。
- 園舎の環境と大きく違う。例えば、全てがバリアフリーの幼稚園園舎から、地下への移動手段が階段であったり、フローは木であったのに対し、滑りやすい床であったりする。安全に関心をもち、自ら気を付けて生活する必要がある。教師が安全に留意し、怪我のないように環境を整えていくことも必要であるが、個々に意識していくことが大切である。危険を回避する判断力や身体的な運動能力なども生活の中で身につけていけるよう指導していく。また、28年度は、年度途中で園舎への引っ越しがある。環境が変わることや、耐震工事中の生活になること、また、避難訓練も小学校と園舎との両方や、工事の環境の変化に対応し、実施する必要がある。耐震工事中は、園庭の使える場所に制限がある。歩きに行くなど、園外も利用しながら体を動かす経験をもち、しなやかな体づくりに努めることは、安全に過ごすためにも必要なことである。
- ハンカチ、ティッシュペーパーを持ってきているかを毎月調べ、それを継続していくことで、習慣づかせていきたい。また、自分で用意している子どもとそうでない子どもがいることから、子どもたち自ら、清潔にする習慣が身につく、意識がもてるように指導し、家庭への啓発にも努めていくことを課題とした。

中期目標

【視点 学力の基礎の向上】

- 生活や遊びの中で学びにつながる科学的な思考力や言語力の芽生えを培い、毎年関心を高める。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、様々な事象に興味や関心をもって生活を楽しんでいますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を毎年向上させる。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、感じたり考えたりしたことを、聞く・話す・伝え合うことを喜んでいますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 整理整頓を行い、安全に生活しようとする態度を育てる。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちが安全に対する意識を育てるために環境や指導の工夫をしていると思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を毎年向上させる。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、生活の中で整理整頓をする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を毎年向上させる。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持推進】

- 自分の体に関心をもち身のまわりを清潔にする態度を育て、毎年健康への関心を深める。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、自分の体に関心をもち、清潔にする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を毎年向上させる。

(カリキュラム改革関連)

- 体を動かすことが好きな子どもを育てる。

(カリキュラム改革関連)

- ・幼稚園アンケート調査で「お子様は体を動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。

(カリキュラム改革関連)

2 中期目標達成に向けた年度目標

【視点 学力の基礎の向上】

○生活や遊びの中で学びにつながる科学的な思考力や言語力の芽生えが培われてきている子どもを、7割以上にする。 (カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で、「おひさまは、様々な事象に興味や関心をもって生活を楽しんでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で、「おひさまは、感じたり考えたりしたことを、聞く・話す・伝え合うことを喜んでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○整理整頓を行い、安全に生活しようとする態度をもつ子どもの割合を7割以上にする。

(カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちが安全に対する意識を育てるために環境や指導の工夫をしていると思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で、「おひさまは、生活の中で整理整頓をする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。

(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持推進】

○自分の体に関心を持ち身のまわりを清潔にする態度を育て、7割の子どもに習慣づくようにする。

(カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で、「おひさまは、自分の体に関心を持ち、清潔にする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)

○体を動かすことが好きな子どもを7割にする。 (カリキュラム改革関連)

・28年度幼稚園アンケート調査で「おひさまは体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。(カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

目標に向けて子どもたちの実態を把握し、教職員間で共通理解を図り、それに合わせた環境や指導方法の検討を行い実施した。今年度は、年度途中で小学校内から園舎へ戻るといふ大きな環境の変化や、園舎内の活動場所が制限されるということがあったため、安全面に重点を置き、課題を感じた時にすぐに伝え合い、教職員間の話し合いの機会を多くもつようにしながら取り組んだ。また、体を動かす環境を整えるため、園外へ出る機会を多くもったり、制限された環境の中でいかに体を動かすことができるのかを考えたりして保育に取り組んだ。その結果、アンケートでは各項目とも高い評価を得ることができた。

ただ、片付け場所が少なく遊具の整理がしにくいことや自然物の栽培がしにくいなどの課題も明確にできた。今後も、検討を重ね、子どもたちが科学的な思考力や言語力、健康で安全な生活を送る力などを育めるよう、取り組んでいきたい。

大阪市立愛珠幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）（様式2）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の基礎の向上】</p> <p>○生活や遊びの中で学びにつながる科学的な思考力や言語力の芽生えが培われてきている子どもを7割以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、様々な事象に興味や関心をもって生活を楽しんでいただけますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、感じたり考えたりしたことを、聞く・話す・伝え合うことを喜んでいただけますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【栽培活動の充実】</p> <p>植物の生長に興味や関心を持ち、収穫する喜びを保護者と一緒に味わえるよう夏野菜栽培に取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 責任を持ち、進んで世話や観察ができるように、保護者と一人一鉢夏野菜を栽培する。 栽培物に興味をもって変化に気づけるような活動を5回以上実施する。 (スケッチや話し合いなど) 収穫した野菜を通し、数量に関心をもつことができる活動を取り入れる。 	
<p>取組内容②【環境の充実】</p> <p>その時々々の環境に応じた取り組みや、環境に関心をもつ活動について、検討し実践する。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に応じた取り組みについて、月1回全教員で話し合う。 季節や子どもの生活に合う絵本について、年5回全教員間で教材研究をする。 保護者対象にアンケートを実施する。(6月、2月) 	
<p>取組内容③【保育内容の充実】</p> <p>聞く・話す・伝え合う喜びを味わえる発達段階に応じた活動について検討し、実践する。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育の実態を把握し、聞く・話す・伝え合う喜びを味わわせる活動について、月1回全教員間で話し合う。 発達に応じた話し合い活動を週1回以上取り入れる。 就学前教育カリキュラムとの整合性を図り、指導計画を、学期毎に再作成する。 保護者対象にアンケートを実施する。(6月、2月) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

- ・2月アンケート調査結果 「お子さまは、様々な事象に興味や関心をもって生活を楽しんでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、98.4%であった。
- ・2月アンケート調査結果 「お子さまは、感じたり考えたりしたことを、聞く・話す・伝え合うことを喜んでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、100%であった。

【取組内容について】

- ①・学年ごとに発達段階に応じた夏野菜を選び、一鉢ずつ親子で栽培をした。
(3歳児・・・ミニトマト 4歳児・・・ナス 5歳児・・・ピーマン)
- ・各クラスで生長や収穫に興味をもてるよう工夫し、成長の変化に気付けるような活動を、各クラスとも5回以上実施した。
 - 3歳児・・・生長に変化があった際（花が咲く、実ができるなど）は、クラスの全員で見に行き気付きを共有できるようにした。夏野菜により興味をもてるように、野菜を使ったハンコ遊びをした。
 - 4歳児・・・水が足りている時と、足りない時の葉の違いに気付けるように声をかけた。
日々生長していくことに関心をもてるよう、少しずつ大きくなる様子をこまめに知らせた。
 - 5歳児・・・スケッチをし、葉の様子など細かいところにまで気付けるようにした。
降園前に話し合い活動をし、夏野菜の生長に関する気付きをみんなで共有した。
- ・地域の方のご協力により、ビルの屋上で冬野菜の親子栽培にも取り組んだ。
(3歳児・・・ブロッコリー 4歳児・・・芽キャベツ 5歳児・・・ダイコン)
- 5歳児は種まきから始め、間引きをすることや、そのタイミングについて知らせ、成長の過程を意識しながら世話ができるよう取り組んだ。また、収穫の際には形のおもしろさや大きさの違いに関心をもてるようにし、後日どのように調理したかなど話し合い、食への関心につなげた。3、4歳児は苗から植え、生長の変化を見に行くとともに、園内でも同じ野菜を栽培し、生長の変化に気付けるようにした。
- ・夏野菜では、葉や実、花の数や大きさ、形に意識が向くように年齢に応じた声かけを行った。また、収穫した芋の数や、稲刈りの折に米粒の数を数えたりすることを通し、数量に意識をもてるよう取り組んだ。
- ②・全教員で環境に応じた取り組みについての話し合いを月1回以上行い、季節の変化に合わせて、花や野菜の栽培を行ったり、泥遊びや水遊び、羽根つき、竹馬などの遊具の環境を整えたりした。また、身近な生き物（カタツムリやサワガニなど）を飼育し、それを製作活動に取り入れるなどして、より興味関心をもって飼育観察ができるようにした。園舎移転後は、新しく熱帯魚やエビを飼育し始めた。エビの脱皮を観察したり、魚が泳ぐ様子を見たりできる子どもたちの心落ち着く場になった。
- ・絵本の教材研究・検討を6回行い、教員の資質向上につながった。
 - 1、文字や言葉に興味関心をもてる絵本について教材研究をした。字本「おのまとペの本」を用意して、子どもが考えたことを言葉で伝え合えるよう、読み方を工夫した。
 - 2、田植えの前に稲の成長に興味をもつよう、絵本を検討した。また成長過程を写真掲示したり繰り返し絵本を見たりし、期待をもてるようにした。
 - 3、お月見に関する絵本を検討して購入し、保育に活用した。その中のお話をペーパーサートにして子どもたちに聞かせた。
 - 4、各クラスの実態や課題を基に、絵本を通じて子どもたちに伝えたい内容を考慮し、教員間で情報交換しながら絵本の検討を行い、生活発表会に取り入れ、表現遊びにつなげた。
 - 5、海遊館の園外保育に向けて、魚に関する絵本や図鑑を検討し、興味をもてるようにした。誕生会では海の生き物に興味をもてるようなクイズをし、より期待をもてるようにした。

6、保育に活用したい絵本や、子どもに読み聞かせたい絵本の検討を行い、購入した。教職員間の学び合いにもなった。

・7月と2月に保護者アンケートを実施した。

③・月1回以上、全教員で話し合いをした。各クラスの実態を伝えるとともに、助言し合ったこと（実態に応じた話し合いの進め方や、話し合うテーマなどについて）を保育に活かし、聞く、話す、伝え合う活動が深まるようにした。

・発達やクラスの実態に応じた話し合い活動を、週1回以上降園前などに行った。また、発見したことを伝え合い、みんなで調べる機会にもしている。回数を重ねるうち深まりが出てきて、経験したことや感じたことだけでなく、次のような話し合いをすることができ、心の育ちにつながった。

3歳児・・・展覧会や生活発表会では、各自のイメージや感じたことを伝え合い、みんなで共通の思いをもって活動を楽しめるようにしたことで、思いを通い合わせる喜びを味わうことができた。話し合いの時間に期待をもち、嬉しいことや頑張ったことがあると先生や友達に話したいという思いをもったり、友達の話を聞いて一緒に喜んだりする姿が多く見られるようになった。

4歳児・・・トラブルがあった際にみんなで相手の気持ちについて考える機会をもち、友達に優しくできたことを伝え合うなど、心が育つようなテーマで話し合いの場をもった。生活発表会では、そのようなテーマの絵本を選び、登場人物の気持ちについて話し合いを重ねたことで、より友達の気持ちに気付くことができるようになった。

5歳児・・・運動会の前にはチームごとで作戦を相談し、力を合わせて取り組めるようにした。また、自分のことだけでなく、友達の頑張りや良さを見つけ、伝え合う機会をもった。展覧会や発表会に向けては、友達と意見が異なることもあったが、互いの思いを出し合うことで折り合いをつけたり、友達の思いを受け入れたりする姿が見られるようになった。

・就学前教育カリキュラムとの整合性を図り、聞く、話す、伝え合う喜びにつながる活動に着目して、学期ごとに指導計画を再作成した。再作成することで、月々の保育の見直しを行ったり、知、徳、体がバランスよく育てているかを再確認したりすることができた。

・主な行事（展覧会、生活発表会）を通した活動の中で行った「教育的意図をもった働きかけ」と、それに対する「子どもの育ち」を、学年毎に表にまとめ、保育の振り返りを行った。知・徳・体の育ちを再確認しすることができ、教員の資質向上につながった。保護者にも配布し、啓発に努めた。（別紙資料参照）

・7月と2月に幼稚園アンケートを実施した。

次年度への改善点

・次年度も工事が続き活動場所が制限されることに加え、工事の状況により年度途中で活況が再度変わるため、環境構成について、全教職員で検討する。また、限られた環境の中でも、植物や生き物にふれる機会をもてるような活動を工夫していく。

・話し合い活動を通し伝え合う喜びがさらに味わえるよう、発達段階に合った取り組みを重ねていく。

・今後も、就学前カリキュラムとの整合性を図りながら、別の視点に着目し、指導計画の再作成を行う。

大阪市立愛珠幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）（様式2）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○整理整頓を行い、安全に生活しようとする態度をもつ子どもの割合を7割以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度幼稚園アンケート調査で、「幼稚園は、子どもの安全に対する意識を育てるために環境や指導の工夫をしていると思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連) ・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、生活の中で整理整頓をする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連) 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全教育の推進】</p> <p>幼児の実態を把握し、園内環境の課題を見直して、階段やトイレ、廊下等の安全な環境を整える。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に対する意識をもてるように、常時分かりやすく掲示する。 ・施設・遊具の安全点検を毎月行う。 ・保護者アンケートを実施する。(6月、2月) 	A
<p>取組内容②【安全教育の推進】</p> <p>物を大切にすることを育て、整理整頓の習慣が身につくような指導を行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けやすい環境について月2回話し合う機会をもち、話し合ったことを実践していく。 ・週末毎に自分の持ち物や遊具の整理整頓を行う時間を設ける。 ・保護者アンケートを実施する。(6月、2月) 	B
<p>取組内容③【家庭・地域との連携の推進】</p> <p>家庭との連携を図りながら、安全の意識をもてるように指導する。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者も共に、安全に対する意識が高められるよう、子どもと一緒に指導を受ける機会を年2回もつ。 ・園外保育毎に、公共のマナー、園外での交通安全の指導を行う。 ・避難訓練を年7回以上実施する。 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

- ・2月アンケート調査結果 「幼稚園は、子どもの安全に対する意識を育てるために環境や指導の工夫をしていると思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、95.2%であった。
- ・2月アンケート調査結果 「お子さまは、生活の中で整理整頓をする習慣が身につけてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、82.3%であった。

【取組内容について】

- ①・開平小学校では、トイレを終えたら座って待つ、階段を降りたら一旦止まるなど、環境に応じた安全に過ごすためのルールを決め、習慣づくように指導した。園舎では工事中であることや、ガラスが多い環境などの実態を踏まえた指導を行ったり、子どもたちが生活する様子を見て、廊下を歩いて通ることができるよう、保育室からの見通しの悪い場所に新しい掲示物を作成したりした。掲示している場に子どもを誘導し、その場で約束を確認した。また、身につくよう、繰り返し指導を行った。
 - ・毎月、職員で安全点検を行い、危険箇所や破損箇所の把握、改善に努めた。また、園外で活動するクラス、園内で遊ぶクラスなど、活動場所を振り分ける機会を定期的に作り、そのような時は運動遊具を多く出すなど、日々の様子に合わせた環境作りを行った。
 - ・限られた環境の中で安全に遊ぶよう、定期的に運動遊具の入れ替えを行っている。また、新しい遊具を出す際には必ず安全指導を行っている。
 - ・7月、2月にアンケートを実施し、幼児の実態把握に努めた。
- ②・安全面で課題を感じた時に、すぐに教職員間で環境や指導方法について知らせ合い、話し合いの機会を月2回以上もち、次のような指導を行った。
 - ・トイレの使い方、スリッパの並べ方など気付いたことがあれば、その都度子どもたちを集め指導を行うようにした。番号を付けてスリッパを置く位置を明確にしたことで、自らきれいに並べようとする習慣がついた。また展覧会前には、素材を分類して片付けられる環境を整えた。着替えの際には服が畳めているか確認したり、片付けた場所をもう一度見直したりすることで、整理整頓への意識をもてるようにした。
 - ・個人の荷物の始末をする位置には、整理しやすいよう個人シールを貼った。また、ロッカーの整理を毎週行い、習慣づくようにした。冬には、防寒具の置き場所について指導し、自分で片付けられるようにした。
 - ・使った画用紙を色分けしてカゴに入れることで、自分たちで片付けようとする姿が見られるようになった。また、再度使える大きさと小さくて使えないものを判断して片付けられるように指導したことで、紙を大切にする気持ちにつながった。
 - ・楽器を取り出しやすいよう、一つ一つ入れる箱を用意した。入れ物を作ったことで、片付けやすくなり、無い時には自ら気付くことができるようになった。
 - ・保護者アンケートを実施し、幼児の実態把握に努めた。
- ③・保護者と共に、安全指導を受ける機会を2回もった。
 - 1、2学期終業式に教職員で安全指導を行い、冬休みに持ち帰る遊具（凧や縄）で安全に遊ぶよう、またつれさりなどの犯罪に巻き込まれないよう話をした。
 - 2、3学期始業式には、警察と連携し、実態に合わせた交通安全指導を行った。園の大門前の横断歩道を利用する際に、指導内容を実行する姿が増えた。
 - ・子どもたちへの指導内容を保護者に啓発する機会をもった。
 - 1、園内で指導していることや、約束していることなどを、降園時や保育室帰りの機会に保護者に知らせ、指導内容を共有し、徹底できるようにした。

- 2、親子遠足の際には、親子で交通ルールを確認できるように、子どもたちに指導している内容を保護者にも働きかけた。
- 3、公園での安全な遊び方について指導を行なうとともに、保護者にはリーフレットを配布し、啓発を行った。
- 4、保護者には、自転車置き場を使用する際の安全について手紙を配布し、危険を感じた際にはその都度口頭で伝えたり、園だよりや保護者会での啓発を行ったりした。状況に応じて個々に呼びかけたことで習慣づいてきた。

子どもたちにも自転車置き場での行動について指導を行った。

- ・園外保育では、交通ルールや電車内での約束をその都度知らせ、体験を通して理解できるようにした
- ・園外保育でバスを利用する際には、車内でのマナーや約束について指導した。年長児は実際に保護者と一緒に市バスに乗り、乗り方やマナーについて学んだ。
- ・異年齢のペアで手をつないで歩くことで、年上の子どもが年下の子どもに園外でのルールや約束を知らせる機会となった。
- ・避難訓練を8回（小学校で2回・幼稚園舎で6回）行った。工事中の環境の中でも安全に避難できるよう、様々な被害（火災・地震・不審者侵入、また、火災発生場所や地震の規模の違い）を想定し避難経路の見直しを細かく行ない、避難訓練を実施した。
- ・地域と連携し、近隣の公園や近隣のビルへの2次避難訓練も実施した。
- ・クラスでまとまって活動している時だけではなく、好きな遊びの時、預かり保育の時など、いろいろな場面での避難訓練を実施し、どんな状況であっても指示を聞き、避難できるようにした。

次年度への改善点

- ・次年度も耐震工事が続き、活動場所が制限されたり変化したりするため、安全に過ごすための工夫が多く必要である。子どもたちの実態を把握し、指導内容の共通理解、指導方法の工夫を今後も行っていく。
- ・移動前と同じロッカーを使用したことで、移転前と変わりなく各自の持ち物の始末を行うことができた。その反面、ロッカーがあることで保育室が狭くなり、遊具の整理がしにくくなった。引き続き整理の仕方について、職員間で話し合い改善に努める。
- ・今後も区役所や警察と連携し、園や地域の実態に合わせた安全指導を、保護者と共に受けられる機会をもつ。

大阪市立愛珠幼稚園 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）（様式2）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点健康・体力の保持増進】</p> <p>○自分の体に関心をもち身のまわりを清潔にする態度を育て、7割の子どもに習慣づくようにする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、自分の体に関心をもち、清潔にする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○体を動かすことが好きな子どもを7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で「お子様は体を動かして遊ぶことを楽しんでいきますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣の確立】</p> <p>身のまわりを清潔にすることに対する意識づけるため、清潔調べや歯みがきカレンダーを活用する。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「清潔しらべ」を月1回行い、保護者に啓発する。 (ハンカチ、ティッシュペーパーを身につけているか) ・食後の歯磨きが習慣づくように、歯みがきカレンダーを年5回以上活用する。 	A
<p>取組内容②【家庭、地域との連携】</p> <p>保健だよりや保健、安全指導などを通して、病気やけがの防止について啓発する。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりを毎月発行し、情報発信をする。 ・保健、安全指導を年7回以上実施する。 ・環境に応じた体づくりの工夫について月1回教職員間で話し合い、実践する。 	A
<p>取組内容③【健康な生活習慣の確立】</p> <p>環境に合わせ、ダンスや体操を取り入れたり、活動を工夫したりしながら、体を動かす機会を増やす。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全園児で取り組むダンスや体操を、年5曲以上保育に取り入れる。 ・歩いて出かけたり、体を動かして遊んだりする園外での活動を年10回以上行う。 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

- ・2月アンケート調査結果 「お子さまは、自分の体に関心を持ち、清潔にする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、95.2%であった。
- ・2月アンケート調査結果 「お子様は体を動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答した保護者の割合は、100%であった。

【取組内容】について

- ①・体重測定後に「清潔調べ」を行った。1学期は、保護者への啓発が十分にできなかったと感じたため、2学期からは、保健だよりに「清潔調べ」の結果を掲載するようにしたところ、各クラスとも向上している。
(別紙 資料1参照)
 - ・弁当後、歯磨きを毎回行っている。4・5歳児には月に1回歯みがき週間を設け、歯みがきカレンダーを活用し、習慣づくよう取り組んだ。色塗りに期待を持ち、歯磨きにも意欲的に取り組んだ。
 - ・3歳児は、一学期間、弁当後に養護教諭が歯の模型を使い、毎回歯磨き指導を行った。ハブラシの持ち方や歯の磨き方にも慣れ、食べたら歯を磨くという意識がついた。2学期以降も担任が指導してみんなで磨く機会をもち、丁寧に磨く習慣が身につくようにした。また、自分で磨くようになると、個々によって磨く時間に差があるという課題が出てきたため、担任と養護教諭で話し合い、砂時計を活用して磨く時間の目安が視覚的に分かるようにした。
- ②・保健だよりを毎月発行し、月ごとに気をつけたい健康面や安全面について、保護者へ情報発信を行った。
(別紙 資料2参照)
 - ・毎月保健指導を行い、基本的な生活習慣が身につくようにした。また、指導を行った日に担任から保護者へ指導内容を伝えたり、保護者会で保健指導の内容を保護者に示したり、家庭と幼稚園が連携して基本的な生活習慣が身につくよう啓発に務めた。
 - ・環境に応じた体を動かす活動について、教職員間で月1回以上話し合う機会をもった。1学期は保育室で律動や表現遊びをしたり、園庭で折り返しリレーをしたりして限られた環境で体を動かすことができるよう工夫した。(毎日の階段を上り下りも足腰を鍛える機会となった)2学期からは、室内にジャングルジムを設置し、体を支えたりバランスとったりする動きができるように工夫した。(特に3歳児にとっては適した大きさであり、遊びを重ねる中で体力がついた)また、園外に出る機会を多くして、小学校の校庭や公園・広場を活用し、存分に体を動かせるような環境の工夫を行った。3学期は寒さに負けず体を動かせるよう、みんなで体操をしたり、マラソンをしたりする機会をもつようにした。また、クラスで替わりあって園庭を使用する、運動遊具の出し方を工夫するなどして、体を動かす場所の確保をしたことで、けがの防止につながった。
- ③・集会や誕生会など行事の中で、季節に応じたダンスや体操を8曲知らせ、みんなで体を動かす場所の確保をし機会をもった。(たのしいね、たけのこ体操、おふろやさんにいこう、エビカニクス、元気いちばんばんたいそう、勝利の日まで、ともだちできちゃった、マラソンゆきだるま)
 - ・園外に出かけ、長い距離を歩いたり、広い場で体を動かす機会を作ったりし、楽しみながら体を存分に動かして遊ぶ機会を年10回以上もった。(別紙 資料3参照)玉入れやマラソンなどの運動会の競技や鬼ごっこ、かくれんぼ、たこあげなど広い場所でのびのびと遊びを楽しんだ。

次年度への改善点

- ・毎日ハンカチ・ティッシュを持ってくることが習慣となるよう、保護者だけでなく、子どもが自分で用意することができるよう啓発していきたい。体重測定時の清潔調べだけでなく、日々の保育の中でも清潔調べをし、意識をもてるよう働きかけていく。
- ・丁寧に歯を磨けるよう定期的に歯磨き指導を行い、歯みがきカレンダーに継続して取り組めるようにする。
- ・園外での活動や体操などを取り入れながら、限られた環境の中でも体を存分に動かせるように工夫する。

平成28年度 学校関係者評価報告書

大阪市立愛珠幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

自己評価結果は妥当である。保護者へのアンケート結果も目標を上回っている。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- | |
|---|
| <p>○生活や遊びの中で学びにつながる科学的な思考力や言語力の芽生えが培われてきている子どもを、7割以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、様々な事象に興味や関心をもって生活を楽しんでいますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う) と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、感じたり考えたりしたことを、聞く・話す・伝え合うことを喜んでいますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> |
|---|

○達成状況の評価は、妥当である。

○年度途中の移転もあったが、2つの環境の中で学びがたくさんあったことを伝え、評価いただいた。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- | |
|---|
| <p>○整理整頓を行い、安全に生活しようとする態度をもつ子どもの割合を7割以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちが安全に対する意識を育てるために環境や指導の工夫をしていると思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、生活の中で整理整頓をする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> |
|---|

○達成状況の評価は妥当である。

○自転車置き場は通路が狭く危険である。止め方を保護者と再確認し、安全に利用できるように働きかけていく必要がある。

○園舎周りに放置自転車が以前に見られたが、三角コーンを置くことで改善された。地域も声かけに協力し、安全を守っていきたい。

○火災時には初期消火が大切である。また、夜間に火災が起こることもある。そのため、スプリンクラーの設置は必須である。

年度目標：体力の保持増進

- | |
|--|
| <p>○自分の体に関心をもち身のまわりを清潔にする態度を育て、7割の子どもに習慣づけるようにする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>・28年度幼稚園アンケート調査で、「お子さまは、自分の体に関心をもち、清潔にする習慣が身についてきたと思いますか」の項目に「そう思う (どちらかといえばそう思う)」と回答する保護者の割合を7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○体を動かすことが好きな子どもを7割にする。 (カリキュラム改革関連)</p> |
|--|

・28年度幼稚園アンケート調査で「お子様は体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目に「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する保護者の割合を7割にする。
(カリキュラム改革関連)

○達成状況の評価は妥当である。

○制限された園庭の中で、子どもたちがより体を動かす環境を作るため、登り棒を設置することについて伝え、賛同いただいた。

3 今後の学校運営についての意見

○アンケートの設問のほとんどが子どもの成長を問うものであるが、一問だけ園の取組に関する評価を問うものがあるのはなぜかという質問があった。設問の内容が社会性の育成を図るうえで目標にして取り組むべき内容であることを伝え、理解を得ることができた。

○地域に大きなマンションが建ち、子どもが増え、地域の幼稚園、保育園が足りない状況である。近隣に新たな保育園ができると聞いている。愛珠幼稚園の入園希望者が増え、地域の子どもたちが入園できないのが残念である。

○愛珠幼稚園は船場の財産であるので、みんなで守っていききたい。